

米子文化のシンボル・公会堂ホール「危険」



公会堂の耐震判定結果は、地震の振動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が高い建物となった。市長は、公会堂の使用中止を決める一方で、存廃を睨みながら「文化施設計画」の総合的な検討を迫られる。

耐震補強費用
十三億六千万円（試算）
公会堂改修に、多額な補強費が伴う。一方、耐用年数は六〇～七〇年で、竣工後五十二年を経過している。耐震改修しても耐用年数は伸びない。

耐震診断判定

Is値
0.15

市議会に事前説明無し！ 図書館、美術館の基本設計予算



市長は、平成二十二年度当初予算に計上した図書館、美術館の増改築計画の基本設計費と図書館の耐震調査費について、議会に事前説明をしなかったことを陳謝した。

増改築事業費
八億～十億円（推定）

「将来に、同じ問題を抱える。」という市民の指摘を無視した予算化は問題だ。図書館の耐震調査しだいは、事業費の増加と公会堂の二の舞になる可能性が残る。

追跡レポ・借地料問題

差額 5億9,790万円
減額 5,930万円

（H14～H21の8年間）

借地料の減額交渉に進展が見られない。

市長は、H20年度の不動産鑑定評価を5年後の契約額と考えている。

更に、約4億円余の差額が生ずる。



特会・借金を一般会計で負担！

本宮山、よりみち通り用地（H19.9～）

（元本）（利子）（返済合計額）

79,940 17,877 97,817 万円

崎津アミューズメント用地（H20.3～）

348,430 80,109 428,539 万円

サティ簡易駐車場用地（H23.9～）

120,770 25,188 145,958 万円

流通業務団地（H26～）

308,700 109,806 418,506 万円

住民サービスに
シブ寄せか！

市民税に占める議会経費

米子市は、最低の経費です。

倉吉市	2.51%	3,153
出雲市	1.84%	2,069
松江市	1.67%	2,294
鳥取市	1.43%	1,808
米子市	1.32%	1,709

市民一人当たり（年間）円

（平成20年度調べ）

平成22年度学校教育予算

準用保護
児童費

基準需要額 35,072,240円

市予算額 111,483,000円

特別支援
教育費

基準需要額 39,600,000円

市予算額 11,254,000円

教材用
図書費

基準需要額 85,120,234円

市予算額 37,462,000円

★基準需要額を下回っている市の予算額が問題である。